

# 保育士として働いてみませんか

保育士が不足している現状、多くの人に保育士の魅力を知ってもらい、保育の現場で働いてほしい！そこで、現役保育士にお話を伺いました。また、保育の仕事に関する支援制度も紹介します。

☎ 保育・幼児教育課 574・6552

## 現役保育士が保育士のしごとを語る



**山口** 子どもの「できた」という成長の瞬間に立ち会えると、何とも言えないうれしい気持ちになります。成人した子どもたちに再会することもありますが、年月が経っても覚えていてくれることに感激します。

**吉田** 私は以前、製造業の仕事に就いていましたが、子どもが好きで、「やっぱり子どもに関わる仕事をしたい」と思い保育士になりました。子どもたちの言葉や行動には、時として全く違う思いやメッセージが隠されていることもあり、内面を見て気持ちに寄り添うことの難しさを感じることもありますが、それでも一日として同じ日はないからこそ、保育の仕事にやりがいと魅力を感じています。

**柳井** 参観日や運動会などを行う中で、子どもたちの楽しそうな姿や笑顔を見ることが何よりの励みになります。また、保護者と成長を喜び合えたときや「楽しそうな子どもの姿を見て安心しました。」という言葉が掛けてもらえたときにやりがいを感じます。大変なことがあっても職場のみんな

**柳井** 参観日や運動会などを行う中で、子どもたちの楽しそうな姿や笑顔を見ることが何よりの励みになります。また、保護者と成長を喜び合えたときや「楽しそうな子どもの姿を見て安心しました。」という言葉が掛けてもらえたときにやりがいを感じます。大変なことがあっても職場のみんな

**柳井** ICTが導入されたことも大きいですが、当たり前になつてきた書類を簡素化したり行事の内容を見直したりすることで、効率化が図られるようになり、気持ちにも余裕ができています。みんなの働き方への意識が変化してきているように感じています。

**吉田** うちの園では働き方改革が進んでおり、職員同士が交代しながら事務や作業に取り組める勤務体制ができています。私は毎月休暇を取っています。

**山口** 私は3児の母で、職場の産前・産後休業と育児休業を取得し、職場復帰しました。他にもさまざまな休暇制度や福利厚生も充実していますし、周囲のサポートもあり、働きやすい環境になつてきたと感じています。

**吉田** 保育の業界は女性社会と思われがちですが、男性保育士も増えてきています。職場はみんな優しく、話しやすく、男性でも働きやすいです。子どもが好きで、子どもの成長を見守りたいと思う人がいたら、ぜひ一歩を踏み出してもらいたいです。

**柳井** 私も、山口さんと同じように子育てのために休みを取りましたが、この仕事を離れたときに「先生たちすごいな、輝いているな、この仕事いいな」と改めて感じる機会がありました。時には悩むこともありますが、同僚や先輩に話を聞いてもらい、保育や自分の育児の糧になっています。保育士はいろいろなことが学べる素敵な仕事だということをぜひ知ってもらいたいです。

**山口** とてもやりがいのある仕事です。パートタイムや週に数日など、さまざまな働き方を選択することもできますので、この仕事に少しでも興味があれば、ぜひ一緒に働けたら嬉しいです。

## 保育士のいちにち例

保育施設は11時間以上開所していますが、保育士は交代で働くので8時間勤務が基本です。

	0・1・2歳	順次登園	3・4・5歳
7:00	視診		視診
8:30	排泄		排泄
9:00	あそび・片付け		あそび 造形・リズム運動あそびなど
9:15	おやつ		片付け
10:00	クラス別保育		
11:30	昼食		
13:00	お昼寝		
14:30	目覚め・排泄		
15:00	おやつ		
16:00	あそび		
17:00	順次降園		
19:00			



保育スタート



**吉田さん**  
保育の中に、子どもたちだけで話し合う時間を設けています。子どもの発想は本当に豊かで、意見が対立しながらも、話し合っていて答えを見つけていく姿に、子どもたちの可能性を感じます。



あそび



昼食



お昼寝

**柳井さん**  
毎朝「おはよう」と安心した様子で自分のもとへ来てくれることが本当にうれしいです。昨日の出来事などを話してくれる姿はとてもかわいいですね。

**山口さん**  
子どもたちは園で、迎えに来た保護者を見つけると、とろけるような満面の笑顔になります。うれしいねと共感しますし、このかけがえのない笑顔をもっと見ていたいと思います。

## 保育士として働きたい人をサポートします

### 市立保育所・こども園での職場体験講習会

「現場復帰したいけど、blankがあつて心配」「保育現場がどんなところか見てみたい」そんな保育士資格を持つ人を対象に、保育現場の見学・体験を行っています。

### 保育のしごとセミナー

指定保育士養成施設の学生および保育施設に就労を希望する保育士を対象に、施設の特色や魅力などの情報発信を行うセミナーを開催しています。



この他にもさまざまなサポートを行っています。詳しくはこちら

☎ 保育・幼児教育課 574-6552

## 保育士として働くパパ・ママは保育所の優先利用ができます



未就学の子どもがいる保育士で、保育所などに就労する予定がある場合には、優先的に保育所を利用できるように調整します。  
※ただし、施設の入所状況などにより必ずしも利用できるとは限りません。

☎ 子ども入園課 537-5794